

保存協力プログラム

1. 目的

保存協力プログラムは、資料保存分野の情報提供、技術援助等を通じ、国内及び諸外国の図書館における保存活動を奨励・促進することにより、人類の知的遺産の現在及び未来における利用を保証することを目的とする。

2. 活動内容

- (1) 情報提供・普及活動
 - 1) 保存関係情報の収集・提供
 - 2) 刊行物等の作成・配布
 - 3) シンポジウム、フォーラム等の開催
- (2) 研修・技術援助
 - 1) 各種研修の実施
 - 2) 講師の派遣
- (3) その他
 - 1) 国内における保存活動の推進
 - 2) 国際的な保存活動の促進

3. 体制

- (1) 保存協力プログラムの実施は、IFLA PAC アジア地域センターが担当する。
- (2) 同センターの事務は、収集部資料保存課が行う。
- (3) 本プログラムの円滑な実施のため、館内はもとより国内外の関係機関の協力を得る。